

「生活道路対策エリア」の取組事例 やわた みみやま きんめいだいにし (八幡市美濃山小学校(欽明台西)地区の事例)

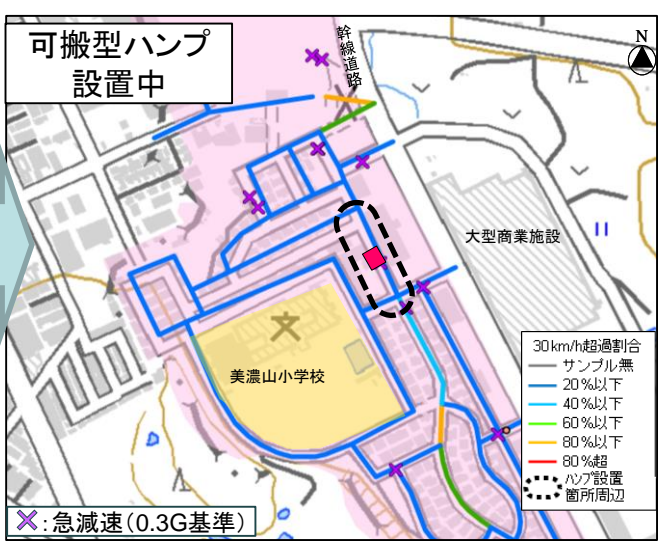
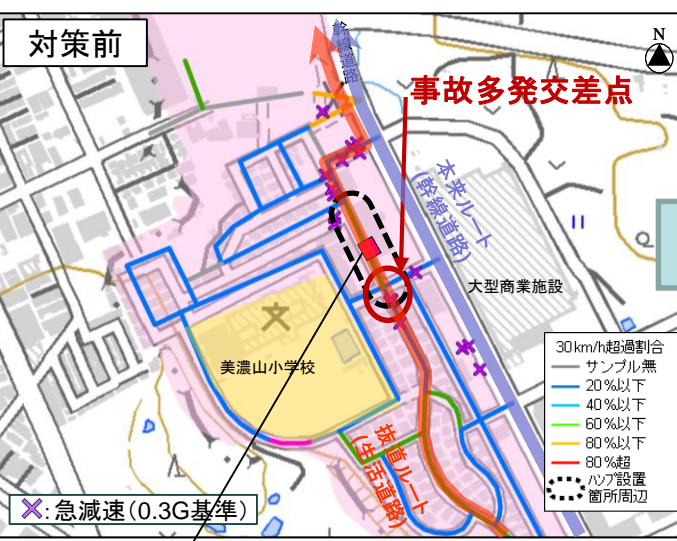
- 当該エリアは、幹線道路に面しており、抜け道利用が多く、事故が多発している状況。
通過交通の侵入抑制を目的とした速度抑制対策を実施(可搬型ハンプ:H30.2 1ヵ月間)
- 現地検討会を2回開催(第1回:H29.10、第2回:H30.11開催)し、地域と協働で対策を検討
- 可搬型ハンプの設置により、30km/h超過割合が22ポイント減少するなど、速度抑制効果が確認できたため、本設のハンプを設置(H30.11)し、今後モニタリングを実施していくとともに、エリア内の他箇所への設置を検討

取組概要



○現地検討会の開催
学識経験者及び関係機関の協働で現地検討会を開催し、対策を検討
H29.10 : 地域の課題の共有
対策案の検討
H30.11 : 効果検証、今後の展開の共有

ビッグデータ分析結果



※ピンク区域:ゾーン30(H26.12指定)

※ピンク区域:ゾーン30(H26.12指定)



整備状況



可搬型ハンプを設置 (H30.2:1ヵ月間)

本設ハンプを設置 (H30.11)

整備効果

	30km/h超過割合 (ハンプ設置箇所周辺)	急減速発生回数※ (ハンプ設置箇所周辺)
対策前	33.0%	13.7回
可搬型ハンプ設置中	11.1%	5.1回

(▲21.9%)

(▲8.6回)

※対策前・設置中のサンプル数に差があるため、千台あたりに換算して比較を行った。
【出典】1. 履歴点データ:ETC2.0プローブデータ (30km/h超過割合、急減速) 【対策前】H28.9~H29.7、【可搬型ハンプ設置中】H30.2.2~H30.3.1
2. 背景地図:国土地理院